



DogNose永遠のルーキ: Luke

- センサ研究開発・製造販売
- ・課題解決型のセンサ開発
- ・シーズベースのセンサご提案
- ・IOTセンサ製造販売

## News:

- (1) 展示会出展: 振動モニタリングシステムをMN展で出展しました。
- (2) 試作例: 超低消費電力のアナログ周波数解析装置

10月4, 5, 6日に幕張メッセで開催されたMN(MEMSセンシング & ネットワーク)展にDogNoseセンサ技研を展示・出展致しました。デモは、「コンデンサマイクを用いた安価な振動モニタリングシステム」と「振動型エネルギーハーベスト電源管理システム」です。予算削減のために展示は「手づくり感が満載」でしたが、結構沢山の方々に見て貰いました。感想は「振動モニタリングはまだ一般の機械システムのメンテナンスまでは広がっていない、将来の技術」の印象を受けました。この中で、アナログ回路を用いた低消費電力のフーリエ変換装置は、多くの方々に好評でした。

来て頂いた方々に感謝致します。

また、ある程度安価にご提供出来れば、試験的に使って頂けるのではないかと確信致しました。初めての自主開発品ですので、これから表面実装を行って、試験販売の準備に入りたいと考えています。

## DogNose今回の製作例:

### MN展・出展用の超低消費電力のアナログ周波数解析装置

通常、フーリエ変換は数値計算で行います。このため、結構計算能力の大きなPCやマイコンで行いますが、高速処理にはマイコンであっても大きな消費電力が必要です。今回は電池で何か月も常時モニタリング出来るように、3.3Vで1mAの電力で動作する、アナログフーリエ変換装置を開発しました。

## DogNoseセンサ技研

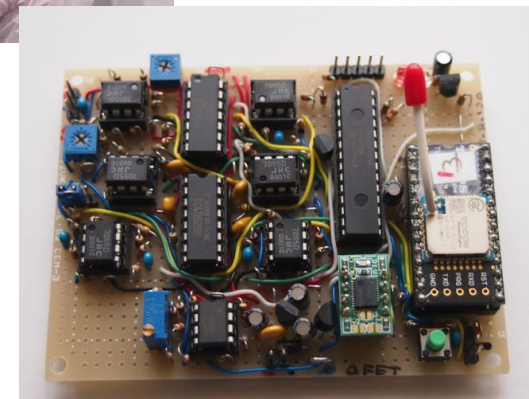
代表 三原 孝士(工学博士) 東京都西東京市

[mihara.dognose.sen@gmail.com](mailto:mihara.dognose.sen@gmail.com)

<http://dognosesens.web.fc2.com/>



MN展での出展の様子



電池で常時振動モニタリングが可能なアナログフーリエ変換装置